

全国演鑑連事務局長 高橋武比古氏からの回答

2012年10月12日

『しのだづま考』の上演を支援する会

代表 角 敏秀 様

2012年10月12日

まず、回答が遅くなったことをお詫びします。

今回の「質問状」に対する回答にあたって、私どもはあらゆる差別に反対していることを表明したいと思えます。

また、全国演劇鑑賞団体連絡会議（全国演鑑連）は、一単位団体の上部団体であるといった関係ではありません。

上記の事を踏まえたうえで、（一）の質問ですが、有馬勇さんの「発言」について、私どもが事実関係を確認する立場にはないと考えております。

中西和久さんと有馬勇さんとの間で、十数年前に個人的に交わされた話であるということも伺っております。このことは、直接、両者に確かめていただく方がいいと考えます。よって、今回の質問内容に関して、私どもが回答する必要はないと認識しております。

同様に、以下の質問についても、今回、回答するべきものではないと判断いたしました。

なお、当日のシンポジウムは、全国演鑑連が主催したものではなく、日本新劇製作者協会が単独で主催したものです。その開催にあたって、私どもが協力させていただきました。

全国演劇鑑賞団体連絡会議
事務局長・高橋武比古